

講義コード	11C0118400	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	外木 好美	開講期	第1期
科目名	国際金融論 1					外木 好美		第1期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	<p>この授業では、数式や図を使って、国際金融にまつわる経済理論を学びます。ここで利用する経済理論は、ミクロ経済学とマクロ経済学、金融論で学んだ内容が基礎となります（主にマクロ経済学）。マクロ経済学や金融論で学んだ金融の仕組みや制度、経済政策等について、為替レートや国際収支を通じた影響も踏まえて、理論的なアプローチから理解することを目的とします。</p> <p>国際金融論1と国際金融論2はセットで受講するようにしてください。また、ミクロ経済学、マクロ経済学、金融論を履修していることが望ましいです。国際金融論1では、①財市場、②貨幣市場、③為替市場の各々の市場を理論的に分析します。国際金融論2では、これら市場を同時に分析し、一国経済の政策の在り方について学びます。</p>								
到達目標	<p>国際金融論1では、以下の3点を到達目標としています。①国際的な資金の融通の意味を理解すること、②物価や金利、為替レートが各市場でどう決まるのか理解すること、③金利や生産物の裁定取引から、金利や物価と為替レートとの間の関係を理解すること。①～③で、学ぶ数式がいくつかあります。一つ一つ数式の意味を理解し、グラフで分析ができるようになることを目標とします。</p>								
授業外学修内容・授業外学修時間数	<p>授業では、直感的な理解ができるよう努めます。授業後に教科書を読み込むことで、経済学的な文章に慣れてください。その上で、各章の復習問題に取り組み、自身の理解度を確認してください。国際金融論は、ミクロ、マクロ、そして金融論を総動員する内容となっています。そのため、これまで学習してきた内容の理解が不十分だと、国際金融論の理解が難しいでしょう。授業中に基礎となる科目の内容にも触れますが、多岐にわたるため、あくまでも簡単な復習レベルです。是非、講義後に個別に質問に来るようにしてください。</p> <p>授業外学修は60時間以上行うこと。</p>								
授業計画	<p>【第1回】ガイダンス、基本的視点の設定：経済学の基本的な考え方  【第2回】基本的視点の設定：金融取引の意味と効果、国境を超えた経済取引を考える  【第3回】国民経済計算と国際収支会計：国民経済計算、GDPの構成要素  【第4回】国民経済計算と国際収支会計：国際収支統計  【第5回】貨幣とマクロ経済：貨幣とその役割、資産としての貨幣とその特徴、貨幣需要、貨幣供給  【第6回】貨幣とマクロ経済：貨幣市場の均衡、貨幣と物価  【第7回】為替レートと外国為替市場  【第8回】予備日  【第9回】金利と為替レート（資産市場における裁定）：金利裁定とカバー付利子平価、カバーなし金利平価と均衡為替レート  【第10回】金利と為替レート（資産市場における裁定）：貨幣市場と外国為替市場（利子率と名目為替レート）  【第11回】金利と為替レート（資産市場における裁定）：リスク・プレミアム  【第12回】金利と為替レート（資産市場における裁定）時間の経過と均衡の変遷  【第13回】物価と為替レート（生産物市場における裁定）  【第14回】質問受付  【第15回】まとめ</p>								
成績評価の方法	各章の課題提出と、期末試験の点数で評価します。								
フィードバックの内容	各章で復習問題で、習熟度を確認してもらいます。ミクロ、マクロ、金融と基礎となる科目が多く、どこでつまづいているのかは学生によってバラツキます。もし解答に困ったら、講義後に残っている時間で質問をしてください。個別に対応します。勉強したつもりではなく、先生に質問しながら能動的に学習してください。								
教科書	『コア・テキスト国際金融論第2版』藤井 英次（新世社）2013								
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ	算数、数学、図、数式等でわからないことがあったら、簡単なことでも、声をかけてください。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付けます。								
その他									